

| プログラム名 | | | | | | | |
|---|---------------|--|-----|----|----|----|----|
| 防災・復興人材特別プログラム（医薬保健学総合研究科） | | | | | | | |
| プログラムのCP（教育課程編成に関する基本的考え方） | | | | | | | |
| 本プログラムでは、防災・復興に関する医学・薬学・保健学に関連する専門教育科目を体系的に編成する。 | | | | | | | |
| 教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方 | | | | | | | |
| <p>1. 教育内容</p> <p>(1) 防災や復興に関する医学・薬学・保健学に関する知識、およびその枠を超えた異分野融合連携についてを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災・復興における医学・薬学・保健学の役割および位置づけの体系的理解 ● 防災・復興における医療人としての使命および医療ニーズに関する理解 ● 防災・復興における異分野融合連携に関する理解 ● 選択科目では、防災・復興に関連したヘルスケア、生命倫理、予防医学について学ぶ <p>2. 教育方法</p> <p>(1) 講義を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災や復興における医学・薬学・保健学に関する講義 | | | | | | | |
| プログラムを構成する科目 ※1 | | | | | | | |
| 科目番号 ※2 | 授業科目名 ※3 | 学修目標 | 学年 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| (77656) | (防災・復興学入門A) | 多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。 | 1～2 | | ○ | | |
| (77657) | (防災・復興学入門B) | 学校における安全管理・安全教育、災害に伴う医療・福祉・保健事業支援等について対応策や課題など、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を教育学、保健学等の観点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。 | 1～2 | | ○ | | |
| 01236 | 災害時医療の実態と課題 | 能登半島沖地震を例とした災害の実状を学び、防災・復興における医学・薬学・保健学の役割および位置づけが理解できる。 | 1～2 | | ○ | | |
| 01608 | ヘルスケア・イノベーション | 防災・復興における医療イノベーションについて理解する。 | 1～2 | | | ○ | |
| 01011 | 生命倫理学 | 防災・復興に関連する医学研究の生命倫理について理解する。 | 1～2 | | ○ | | |
| 01214 | 予防医学概論 | 防災・復興における予防医学について理解できる。 | 1～2 | | | ○ | |
| 02060.a | 学際セミナー | 防災・復興における創薬科学分野の役割について理解できる。 | 1～2 | | ○ | | |
| 03012 | 地域包括ケア特論 | 防災・復興を含め、高齢者の医療・保健、フレイル予防などの包括ケアについて理解する。 | 1～2 | | ○ | | |

※1 他研究科開講の授業科目は、当該授業科目を開講する研究科等のカリキュラム・マップで確認してください。

※2 ()は共通教育科目の科目番号

※3 ()は共通教育科目の授業科目名